

# 群馬県内・夏山情報

## ～ 登山をする皆様へ ～

夏山シーズンを迎え、家族による登山、溪流釣りや写真撮影等の趣味を兼ねた登山者の増加が予想されます。登山では、ちょっとした油断や準備不足が思わぬ事故につながります。安全で楽しい登山をするため、次のことに注意してください。

- 1 安全で計画的な登山を行うため、必ず登山届を提出しましょう。
- 2 事前に登山コースや危険箇所を確認し、自分の体力、技術、経験に応じた山を選び無理のない計画で登山しましょう。
- 3 夏山といえども低体温症による遭難も発生していることから、事前に気象情報の確認を行い、十分な装備を所持しましょう。また、天候が急変した場合は登山を見合わせるとともに直ちに下山しましょう。
- 4 夏山登山では脱水が大敵ですので、こまめに十分な水分を補給しましょう。
- 5 家族や職場等に登山コースや帰宅時間、非常時の連絡方法等を必ず伝えるとともに、携帯電話等（予備バッテリー）の連絡手段を確保しておきましょう。
- 6 新型コロナウイルス感染症の影響のため、尾瀬国立公園内の山小屋等の施設の一部が休業又は使用禁止になっています。登山前には各施設等のホームページを確認するなどして、十分に現地の状況を把握し、安全な登山に努めましょう。



山 (系)名	標高(m)	ワンポイントアドバイス
尾瀬 (尾瀬国立公園)	1,400	<p>● 尾瀬地域の自然環境の保全と、玄関口となる鳩待峠の利用者分散化を図るため、本年もマイカー規制が行われます。</p> <p>例年、片品村の津奈木から鳩待峠までの県道区間は、ゲートを閉鎖して全面通行止めとなります。</p> <p>マイクロバス、タクシー、ハイヤー、乗合バス、乗合タクシー以外の車両(二輪車を含む。)は通行禁止となりますので注意してください。</p> <p>● 尾瀬ヶ原の木道はよく整備され歩きやすいという利点がある一方で雨の影響により、滑りやすくなりますので、転倒事故には細心の注意が必要です。</p> <p>また、この時期は、尾瀬ヶ原等でも熊が出没することがありますので、散策の際は注意してください。</p> <p>もし熊に出会った場合は、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 大声を出さない</li> <li>○ 写真撮影しない</li> <li>○ 子熊には絶対近づかない</li> <li>○ ゆっくりと静かに後退する</li> </ul> <p>等を守ってください。</p>
至仏山 (日本百名山)	2,228	<p>● 残雪の期間、至仏山の登山道が登山者の危険防止や植生保護のため閉鎖されます。</p> <p>● 至仏山は、つるつるして滑りやすい蛇紋岩<small>じやもんがん</small>が多いため、特に下山時には、細心の注意が必要です。</p> <p>● <u>山頂～山ノ鼻間</u>は、標高差800mの急勾配です。<u>同区間の登山道は、環境保護のため、登り専用</u>が呼びかけられています。</p>
谷川連峰 (谷川岳) (日本百名山)	1,963	<p>● 群馬県谷川岳遭難防止条例に基づき、冬山期間(12月1日～翌2月末日までの間)を除く期間内に危険地区(別図のとおり)に登山しようとする場合は、登山しようとする日の10日前までに谷川岳登山指導センターに登山届2通の提出が必要です。</p> <p>【登山届の提出先】</p> <p>〒379-1728 群馬県利根郡みなかみ町大字湯楡曾 群馬県谷川岳登山指導センター</p> <p>※ 登山届の提出及び危険地区の詳細は、群馬県谷川岳登山指導センター(電話0278-72-3688及びホームページ)で確認してください。</p> <p>● 登山前には、必ず登山指導センターにおいてコースの状態、天候などの情報を得るとともに、登山カードを提出してから登山してください。</p> <p>● 谷川岳における気象は大陸からの影響を強く受け、局地的に低気圧ができやすいことから、夕立、降雨、濃霧となるケースが非常に多く天候も急変しやすい場所ですので、登山に際して</p>

		は、雨具や防寒具は必ず準備してください。
日光白根山 (日本百名山)	2,578	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 那須火山帯に属し、日光火山群の主峰である活火山の日光白根山は、関東以北の最高峰で、現在は、「噴火警戒レベル1」(活火山であることに留意)となっています。</li> <li>● 日光山地一帯は谷川岳と同様に気象の変化が激しい場所です。登山に際しては、天候の急変に備えて、防寒具・雨具などの装備は忘れず準備してください。</li> </ul>
上州武尊山 <small>ほたかさん</small> (日本百名山)	2,158	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 標高2,158mの沖武尊を最高峰に、家ノ串、剣ヶ峰、前武尊などの峰々をもっています。</li> <li>● 登山適期は、6月から10月までです。</li> <li>● 沖武尊、前武尊、中ノ岳はともに標高が高いため、天候の急変に備えた防寒対策は欠かすことができません。また、入山に際しては、コースや所要時間等について事前に確認しておく必要があります。</li> </ul>
皇海山 <small>すかいさん</small> (日本百名山)	2,144	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 登山口は、利根町振興局から約22キロ先にある皇海橋です。</li> <li>● 皇海橋に通ずる栗原川林道は、車両通行止めは解除されていますが、落石等の危険箇所もありますので注意が必要です。</li> </ul>
赤城山系 (日本百名山)	1,828	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 赤城山は県中央部に位置し、最高峰の黒檜山<small>くろびさん</small>(1,828m)をはじめ、駒ヶ岳、薬師岳などの外輪山のほか、中央火口丘の地藏岳、長七郎山、鍋割山、鈴ヶ岳等で形成されています。</li> <li>● 関東平野の北端に位置し、裾野の長いその山容は大変美しい山です。</li> </ul>
草津白根山 (日本百名山)	2,171	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 白根山、本白根山、逢の峰等の一帯を総称して草津白根山と呼称します。</li> <li>● 硫化水素ガスが噴出する危険箇所には、立入禁止措置がとられています。中には絶対に立ち入らないでください。</li> </ul>
四阿山 <small>あずまやさん</small> (日本百名山)	2,354	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 登山道は整備され道幅も広いが、茨木山手前と鬼岩を過ると急坂となり、また、道幅も狭くなるので、慎重に行動してください。</li> <li>● 茨木山山頂では、一面のキャベツ畑、田代湖、浅間山、浅間隠山の眺望が、また、四阿山山頂からは、北アルプス、中央アルプス、南アルプスの山々、上毛三山(赤城、榛名、妙義)、また富士山と360度の眺望が楽しめます。</li> </ul>
浅間山 (日本百名山)	2,568	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 浅間山は日光白根山に次いで群馬県第二の高山で日本有数の活火山でもあります。</li> </ul>
妙義山系	1,104	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 白雲山、金洞山、金鷄山の3山を表妙義、中木川左岸の山塊を裏妙義と呼んでおり、山域は富岡市妙義町、下仁田町、安中市松井田町の2市1町に位置しています。</li> </ul>

- |  |   |
|--|---|
|  | <ul style="list-style-type: none"><li>● 高さこそ1,100mほどの山ですが、急峻で谷が深く、岩場が多く、入り組んでおり地形が複雑です。このため、県内においては谷川岳の次に遭難事故が多く発生していますので、登山する場合は、事前にコースをよく理解しておき、危険な岩場に立ち入ったり安易に道はずれ沢等に入らないでください。</li><li>● <u>上級者コース等の危険な岩場に安易に立ち入り、滑落する事故が後を絶ちません。技術や装備のない登山者は危険な岩場には絶対に立ち入らないでください。</u></li></ul> |
|--|---|